

第2回サマースクール 参加者の声

●学部6年生 女性

先日のサマースクールにおきましては、大変勉強になる機会をありがとうございました。感想を返信するのが期日ぎりぎりとなってしまい、申し訳ありません。今回のサマースクールは、私にとってとても刺激を受け、勉強になるものでした。私は6年生ということもあり、将来小動物臨床に進もうと決めているのですが、それ以外にも研究の話や企業の話などを伺うことができ、獣医師としての将来を見据える視野が広まったように思えます。またサマースクールのようにたくさんの獣医師の先生方にお会いし、直接お話を伺える機会は初めてで、様々な考え方をお持ちなの分かりました。それはすごく新鮮で刺激的でした。一つ残念だったのは今回は学生の数が少なく、もったいないと感じました。実際に大学でサマースクールのことを知っている学生はほんの一握りで、今回も2名だけの参加となってしまいました。これからサマースクールがもっと周知のものとなり、たくさんの学生の意識向上に繋がりますよう、私も努めていきたいと思っております。今回は非常に勉強になる機会を頂き、重ね重ね誠にありがとうございました。今後、ますますご発展なさるのを遠くからお祈り致しております。

●学部3年生 男性

自分は今大学3年生ということで、獣医学の知識も少なく、まだ研究室にも所属したばかりであり、研究も先輩のお手伝いを少しさせていただいている程度、また論文も読んだことがないような状態で、正直このセミナーに参加するのは不安でいっぱいでした。ですが、不安であると同時に、このセミナーへの興味も自分の中では大きいものでありました。それで、例え内容が非常に難しいものであっても、努力すれば知識を吸収できるであろうと信じ、このセミナーへ参加することを決めました。

実際に参加し、まずこのセミナーに参加している人達がみなさん学生を暖かく迎えてくれる方ばかりで安心しました。参加してもその場の空気に吞まれ、緊張で誰とも話せなかったらどうしようという不安はありましたが、サポーターの方やそのセミナーに以前から参加している方に、このセミナーについて、丁寧に説明して頂けたおかげで、その不安も段々と消えていきました。

先生方の発表は、1年生で習ったような獣医学全般に関するお話から、実際に社会に出てからの体験談、さらには今実際に行っている研究の内容など他分野にわたる普段の生活では自分の耳に入らないような貴重なお話を聞くことが出来、大変学びの多い時間でした。

また、その後の懇親会では教授や病院の先生方と直接お話しすることが出来ました。この時間がこのサマースクールの中で一番濃密な時間であったと考えております。多くの方々とお話を通じ、獣医師に出来ることが多岐にわたっていることを具体的に知ることができたり、自分が獣医師になったら何がしたいのか、どのように社会に貢献することができるのかをしっかりと考える機会をいただけたりと、さらには自分の中で長いこと疑問として残っていたことへの答えや、その答えへのたどり着き方を教えていただくことが出来ました。

そして、最終日のディベートでは、先生方のサポートの元、学生同士の考えを出し合うことで、自分にとって新しい見方に触れることが出来ました。それと同時に懇親会同様自分で発言する機会を頂くことによって自分の考えていることをより具体的に再確認することが出来ました。

このセミナーに参加したことで、自分がどのような獣医師になりたかったのかを再確認することが出来たり、獣医師になった後のことを考え今自分がすべきことを考えるきっかけを頂いたり、自分を成長させるための多くの機会を頂きました。非常に有意義な時間を過ごせたと思っております。サマースクールに参加出来たことを幸せに思っております。本当にありがとうございました。このたびのご縁に心より感謝申し上げます。今後とも、

よろしくお願ひ申し上げます。

●学部5年生 男性

今回のサマースクールでは、人の考え方は本当に様々であるなと感じました。この場では、獣医領域における研究とは、教育とは、そして獣医師とは何かなど様々な議題に対して、議論する機会がありました。この場で出た議題に対してただ一つの答えは無いと思っています。多くの考えに触れることが出来ましたが、大事なことは、その考えを鵜呑みにするのではなく、思考し、解釈して、自分なりの答えを見つけたら、良いのかなと思いました。このような会に多く参加することで、獣医師としての自分を作っていけたらと感じました。

●学部5年生 男性

この度は、二日間の獣医アトピー・アレルギー・免疫学会主催のサマースクールに参加させていただきまして、誠にありがとうございました。今後の進路を考えていく上で、非常に有益な情報から頭を悩ませてしまうような情報まで、様々なことを聞くことができたと感じています。もちろん、すべての情報が直接的に自分の今後に生かすのは難しいと思いますが、少なくとも今の自分にとって刺激となり、今後を考えていく活力となると考えています。

二日間はとても短く感じましたが、その中でも一番心に残っているのは、希望進路ごとに分かれたディスカッションです。まず、自分と同じ方向に進もうとしている人が、どのように考えているのか、自分とはどう違うのかなど、とても興味深かったですし、小動物臨床をされている先生や別の方向性を持った先生からの意見や質問が自分の中で、新たな考えや疑問を生み出し、自らの視野が広がったように思います。また、異なる分野を目指している学生の意見や考えを聞いたことで、自分とは違う視点で、獣医学というものをつまえているのだと興味深く感じました。

最後になりましたが、人と人とのつながりがとても重要だと知ることができたサマースクールを開催していただきました獣医アトピー・アレルギー・免疫学会の方々に心から感謝しております。ありがとうございました。

●学部生 男性

学会の何かに参加するのは今回が初めてで、当日も参加するまで緊張していましたが、参加できて本当に良かったです。私は現在大学で免疫関係の研究室に所属しているので、免疫学に関して何か学べる機会になればと思い今回のサマースクールに参加しました。また、私は大学卒業後の進路を小動物臨床か研究職かで迷っており、小動物臨床で活躍されている獣医師のお話は聞く機会がよくあるのですが、研究者として活躍されている獣医師の方のお話は聞く機会がなかったので是非そういった方々からお話を聞きたいと思っていました。すると、素晴らしい研究者にお会いし、お話を聞くことができたのでとても興奮し、参加できたことを嬉しく思いました。研究者として獣医師のレベルは低いことや研究者になる大変さを教えていただきました。研究者として活躍されている方以外にも、保険会社やペット業界のマネージングなど小動物臨床以外の分野でご活躍されている獣医師の方のお話を聞くのは初めてで、獣医師としていろんな活躍の場があるのだと視野が広がりました。また、視野が広がったと感じているうちに、今回のサマースクールを含め獣医師の集まりは狭いものだから違う世界にもっと自分から関わっていきなさい、とも教えていただきました。

日本獣医学生協会(JAVS)という全国の獣医学生が交流を深めるための団体があるのは知っていましたが、私はその団体に所属していないので、他大学の獣医学生と関わる機会がほとんどなく今回初めて他大学の獣医学生と交流を持ちました。私は現在五年生ですが、二年生のうちから将来の進路を考えて今回のサマースクールに参加した学生や先生方の講義を聞いて的確な良い質問をされていた学生などどの学生も素晴らしい方々でした。特に

現在では同じ研究室内の4年生から6年生と同じクラスの学生に限定されつつあるので、学生間でもとても良い刺激を受けました。

このような素晴らしい会を設けていただき、獣医アトピー・アレルギー・免疫学会の先生方々やサポーターの方々にとても感謝しています。私はこれまで自分の研究室内や大学内に籠りっきりでしたが、今回を機にもっと違うグループや社会や世界にも参加していきたいと思いました。来年のサマースクールにも一年成長した状態で是非参加したいと思います。

●学部生 男性

今回はとても貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

今まさに就職活動をしている獣医学生として、企業、研究者、臨床と様々な立場の方のセミナーを聴けたことで、実際に自分が働く姿を想像することができました。また、それ以上に印象深かったのは講師の皆様の熱意です。セミナーではもちろん、セミナー終了後の懇親会などでも皆様それぞれ熱意を持ってこうしたいという夢に向かって取り組んで折られる姿勢に感銘を受けました。おかげで、自分のキャリアビジョンについて改めて考えることが出来、情熱を持ってこれからのキャリアを気づいていきたいと思っております。

一点注文があるとすれば、二日目のディスカッションにもうすこし時間をかけられればと思います。それぞれの持論を展開するだけに終わりがちだったのですが、意見交換をしながら学生同士、互いの考えを理解できれば良かったなと思います。

以上です。改めましてサマースクールに参加できたことを幸せに思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。

●学部4年生 男性

～獣医師として研究することとは～

この度のサマースクールに参加させていただき、とても興味深く、貴重なお話をさせていただきました。このような機会を設けてくださった皆様に、深く感謝申し上げます。僭越ながら、感想を述べさせていただきます。

私は、現在学部4年生で、幼いころからの「好奇心を満たしたい、人の知らないことを知ってみたい。」という一心で研究者を目指しておりました。しかし、皆様のお話を聞いているうちに、自分の考えは甘かった点、幼い点が多かったと痛感いたしました。

将来獣医師としてどう獣医学に携わっていくのかを考えさせられました。生物系の研究の道には、医学部、薬学部、理学部等いろいろな大学の出身者がいますが、その中で獣医師免許を生かし獣医師として何ができるか、どう差をつけていくかということこれから意識していく必要があります。獣医学を学び免許を取るうえで、私にしかできないことを行なうという意義は魅力的であり、医学より何年も遅れをとっているといわれている獣医学を私が牽引し飛躍させるような意気込みで精進してまいります。

私はどの分野に就いて、何を成し遂げるか迷っている最中です。その中で臨床を行ないながら論文を執筆されている先生や、企業でご活躍されている先生、大学で研究を行なっている先生、さまざまな先生のお話はとても興味深く、刺激的でした。また、臨床でご活躍されている先生方の熱意や臨床の楽しさ、難しさを聞き、大変魅力的に感じました。様々な選択肢があり、未熟な私が答えをだすのは時間のかかることかもしれませんが、今回のお話を参考に私のできることを考え、出来ることから実行に移していこうと思っております。

今回一泊二日という短い期間ではありましたが、先生方に遅くまで優しくお話に付き合いいただき、濃密な時間を過ごさせていただきました。二日目の学生参加の座談会では私自身の意見が求められ、難しかったですが貴

重なる経験をさせて頂きました。ぜひともまたこのような機会があれば参加させていただきたく存じます。来年の開催を心待ちにしております。大変お世話になり、感謝申し上げます。ありがとうございました。

●学部2年生 女性

今回のサマースクールはとてもいい経験になりました。現在ご活躍中の先生や他大学の獣医学科の学生の方とお話する機会がなかなかないため、新鮮でした。個人的には、2年生の夏というこのタイミングで行けたことは良かったと思いました。まだ進路について具体的に見えていない状態だったので、獣医師としてどのような形で社会で活動できるのか、先生方のお話で見えてきた部分もありました。講演も、小動物臨床、企業、研究者、また医師へと転職された方など、バラエティー豊かなお話で、獣医師として働くといったときの幅の広さがわかりました。飲み会では先生方がざっくばらんにお話してくださって、その雰囲気からも獣医師の世界を垣間見ることができました。わたしは今のところ、小動物臨床を目指しているのですが、開業医の先生方とお話できたことがすごく良かったです。考え方や、働き方の面で尊敬できる先生と出会えたことは大きな収穫でした。また、同じ女性であり、結婚や出産のご経験もされている先生から、女性として獣医師のキャリアを築いていくという面でお話を伺えたことはよかったです。個人的な話になってしまいましたが、今回のように色々な立場の先生が参加されていることは良いと思いました。

2日目の座談会では、学生同士でも意見を交わすことができ、とても面白かったです。普段の学生生活ではあまり真面目はテーマでディスカッションをすることは無いのですが、学生と先生が交じって意見を言える雰囲気でもとてもよかったです。自分も参加するという事で受け身ではなく、能動的に参加でき、参加することで自分の考えも見つめ直すきっかけになりました。

最後に、学生は4000円という参加しやすい値段でこのような機会を設けてくださった学会の皆様、サポーターの方、福原さん、本当にありがとうございました。参加してよかったです。これからも、頑張ろうと思いました。

●学部生 男性

この度はサマースクールに参加させていただき、ありがとうございました。獣医はサービスと言われて、そのような固定観念に捕らわれていた私にとって、今回のサマースクールで聞き、触れた考えはとても新鮮で、希望となりました。また、大人の前で自分の意見をはっきりということのできる大学生は多くないと思いますし、そこで否定される経験をしている人はもっと少ないと思うので、そのような機会を得られるだけでもこの会を開く十分な意義があるのではないかと思います。様々な意見があるとはおもいますが、是非、来年以降も開催し、獣医学生の希望となっていくことを心より願っております。

●学部6年生 女性

昨年に引き続き2回目の参加をさせていただきました。このセミナーの魅力は、色々な立場の獣医師の方々がとても深いお話をしてくださること、それぞれの先生方が自身の考えをしっかりとっており、互いにそれを尊重しあっていること、また、学生の意見であったとしてもそれを尊重して話を聞いてくださり、多くの先生がそれに対して意見をくださること、先生方と話せる機会がとても多いことです。

昨年のセミナーを一つのきっかけとし、1年間、なるべく広い視野で獣医師としての働き方を見、実際自分は今後獣医師としてどのように働きたいか、どのようなことに生涯かけていきたいのかを考え、私なりの考えを得てから今回再び参加させていただきました。今回参加した狙いは、先生方のご講演を前回と違った視点で聞いてみたいということと、自分の考えてきたことが、先輩獣医師の方々を受け入れられるものなのか、独りよがりの考えなのかをお聞きしたいと思ったことがあります。

視点が違うと今まで見えなかった部分も見えてくるので、同じような話であっても新鮮な気持ちでお話を伺うことができました。また、前回とは違う先生のご講演も伺うことができたので、また新しい世界を覗くことができ、言うまでもなく貴重な時間を過ごすことができました。私の考えてきたことも、講演中にいくつか質問もさせていただきましたが、そのあと複数人の先生方からそれに対してコメントやご意見をいただけ、とても為になりました。一学生の意見であってもきちんと話を聞いてくださり、それに対して意見も言ってくださり、具体的に何をすべきか、現状の何が問題なのかといった話までしてくださり、震えるほど嬉しかったです。今回のセミナーを通して得られたもっとも大きなことは、具体的にどのような考えをもっていたとしても、結局のところ皆目指す獣医師像、獣医学の将来像は同じようなものであり、そのために最大限の努力をしていらっしゃるということです。先生方が何を目指して日々ご自分の仕事に向かっていらっしゃるのかが切に伝わってきました。

来年以降に関してですが、このセミナーを通して何をどのくらい感じて考えて自分のものにしていくかは個人さまざまだと思いますが、程度の違いはあっても得られるものはとても大きく、参加者が先輩となり後輩に助言をする立場になったり、あるいは獣医師として仕事を始めた時に、一人一人の与える影響は大きいものだと思います。今後もぜひ続けていっていただきたいです。

また、講演内容についてですが、どうしてこの道を選んだのかということ（学生目線ではこれが最も聞きたいことになるのですが）だけではなく、どのような獣医師を目指して日々過ごしていらっしゃるのか、どんな獣医学を作りたいのか、学生たちに送りたいメッセージは何なのかといったことも明示してご講演なさっていただけるとはっきりと学生にも伝わるのではないかと思います。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。貴重な時間をありがとうございました！